

科目名		一般教養C 2							年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種				
【科目の目的】										
「プレゼンテーション」で学ぶ論理的思考は、今後の作品制作における企画・プレゼン、または就職活動の面接等で必須の内容である。社会人として必要なコミュニケーションの一つとして学習する。										
【科目の概要】										
「プレゼンテーション」では個人またはグループでのワークショップを取り入れ、より実践的に授業を行う。学生の積極的な発言、発表を促し、双方向授業を行う。										
【到達目標】										
「プレゼンテーション」ではコミュニケーションツールの一つであることを知り、論理的思考法を理解し日常で実践的に使えるプレゼンテーション法を身に付ける。										
【授業の注意点】										
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。また、自ら考え発表する事を重視するため、積極的な発言を促す。 但し、授業に関係の無い私語、ルールに反した参加態度が見受けられた際には厳しく対処する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標 A ロジカルシンキング	論理を積み重ねて言いたいことが言える		多少の強引さはあるが 「・・・ゆえに・・・」と段階的に話すことは出来る			思考が散漫				
到達目標 B プレゼン能力	ロジックを元に訴求力のあるプレゼンテーションを行える		ある程度の論理性を持ってプレゼンテーションを行う			何が言いたいのかわからない				
到達目標 C グループワーク	相手の発言を理解し、受け取りつつも自分の意見を言うことができる		言いたいことは言えるが聞くことと理解力に若干難あり			会話が成り立たない				
【教科書】										
毎回、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【参考資料】										
毎回、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【成績の評価方法・評価基準】										
期末試験										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										
科目名		一般教養C 2							年度	2025

英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要説明		概要説明	授業の前提の理解		
			・ 授業の目的			
5	プレゼンテーション ①		プレゼンテーション	プレゼンテーションとは何か、コミュニケ		
			1	ーションスキルの一つである事を理解する		
3	プレゼンテーション ②		プレゼンテーション	ロジカルシンキング、論理的思考法を理解し		
			2	問題解決に繋げる		
4	プレゼンテーション ③		プレゼンテーション	ロジカルシンキングの応用編		
			3			
5	パーソナルプレゼン テーション①		パーソナルプレゼ	個人的な話題のプレゼンテーションと講評①		
			ンテーション①			
6	パーソナルプレゼン テーション②		パーソナルプレゼ	個人的な話題のプレゼンテーションと講評②		
			ンテーション②			
7	パーソナルプレゼン テーション③		パーソナルプレゼ	個人的な話題のプレゼンテーションと講評③		
			ンテーション③			
8	プレゼンテーション ④		プレゼンター	論理的思考法を用いて効果的なプレゼンテ		
			ション④	ーションを学ぶ		
9	プレゼンテーション ⑤		プレゼンター	実際のプレゼンテーションを視聴、		
			ション⑤	体験する①		
10	プレゼンテーション ⑥		プレゼンター	実際のプレゼンテーションを視聴、		
			ション⑥	体験する②		
11	グループワーク①		グループワーク①	グループを設定し、社会問題からテーマを		
				抽出し、討議		
12	グループワーク②		グループワーク②	グループを設定し、社会問題からテーマを		
				抽出し、討議		
13	グループワーク③		グループワーク③	プレゼンテーション内容を制作		
14	グループプレゼン テーション①		グループプレゼン	グループでのプレゼンテーション発表と講評		
			テーション①			
15	グループプレゼン テーション②		グループプレゼン	グループでのプレゼンテーション発表と講評		
			テーション②			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等